

ホタル調査について

■ホタル学習会の実施・・・平成28年4月27日（水）パークセンター研修室

講師：大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 環境動物昆虫学研究グループ 平井先生

内容：座学・・・ホタルの種類、見分け方、生態、成虫や幼虫の調査方法の事例等
現地・・・天神川周辺の状況の現地確認

ホタル調査については、一番発生が早いヒメボタルの発生状況に合わせて調査日を設定する

パーククラブ有志による

～平成28年5月11日（水）園内でヒメボタルの発生を確認～

平井先生の研究室学生が研究テーマとしてホタル調査についてパーククラブと連携協力していただけになった。

日程調整

■ホタル調査の実施

【予備調査】平成28年5月18日（水）20時～

園内のホタルの状況を平井先生と事前調査

【第1回目】平成28年5月20日（金）19時30分～

説明：平井先生から調査方法について説明

※環境省生物多様性センターの「モニタリングサイト1000 里地調査マニュアル」を参考

調査：4班に分かれてホタルの一斉調査を実施（別紙地図参照）

I 水辺広場周辺、II レンジャー棚田周辺、III 天神川周辺、IV 未開設区域周辺

結果：公園及び天神川周辺のほぼ全域でヒメボタルと天神川でゲンジボタルを確認



【第2回目】平成28年5月27日（金）19時30分～

調査：全員で天神川周辺を中心にホタルの調査を実施

結果：少なくなったエリアもあるが全域でヒメボタルと天神川を中心に前回より多くゲンジボタルを確認した。また、数は少ないがヘイケボタルも確認できた。



【第3回目】平成28年6月3日（金）19時30分～

調査：全員で天神川周辺を調査したあと、3班に分かれてホタルの調査を実施

結果：全域でヒメボタルがすくなくなり、天神川を中心にゲンジボタルが確認できた。また、新たにビオトープ池周辺でヘイケボタルが多数確認できた。

【第4回目：最終調査】平成28年6月10日（金）19時30分～予定